

単元名

ぼくらのSDGs～江田島のよさを発見しよう！！～



#島時間 #自然豊か #きれいな海 #絶景 #sup #豊富な海の生き物



単元の概要

これまで、江田島はどんなところと聞くと、「何も無い。田舎。」と答える児童が多くいました。だから、子どもたちの一番身近にある“海”に着目し、実際に見たり体験したりしてみる学習を行いました。その前に、今注目されているSDGsにも触れ、日本の現状やSDGsについての課題も理解したうえで、体験的活動を通して、江田島のよさや魅力に気づき、江田島が我が地元だと誇れるようにしていきます。

【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

○地域のよいところや魅力は何だろうか。

【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）

○本当の江田島のよいところや魅力は何だろう。

【単元の目標】

○私たちが暮らしている江田島のよさや魅力を発見し、体験から得た学びや得た情報を比較・整理・分析し、他県の人に江田島のよさを発信することができる。

活動の様子（全27時間）

【情報収集（2時間）】

○オリエンテーションを行いSDGsについて知っていることを出し合い、SDGsについて興味をもつ。

○江田島市や江田島の海の現状について知っていることを出し合う。

【課題設定（2時間）】

○SDGsの17あるゴールから疑問を出し合う。

○17あるゴールで一番興味が多かった「14海の豊かさを守ろう」に焦点を置き、江田島の海の現状や解決策を考える。



情報を収集し、共有し合っている様子

【情報の収集・整理・分析（9時間）】

○自分がSDGsの17のゴールから疑問に思ったことを本やネットを通して調べる。

○江田島市や江田島の海について本やネットを通して調べる。

○大阪府の小学生に江田島の魅力を伝えるために情報を整理しまとめる。

【実行(9時間)】

- マリンアドベンチャーを通して、江田島の海や生き物に触れる。
- ビーチクリーンを通して、砂浜にはどんなゴミが落ちているかを理解する。
- マリンアクティビティを通して、江田島の海の下さに気付く。
- ウミホタル観察を通して、江田島の自然の偉大さに気付く。



ビーチクリーン後の様子

【まとめ・創造・表現(4時間)】

- SDGs について調べたことを紹介し合う。
- 江田島の海の特徴など調べたことを紹介し合う。
- 大阪府の小学生に江田島の魅力を伝える。



大阪府の小学生とオンライン交流

【振り返り(1時間)】

- 交流を通して初めての気づきや変化をプリントにまとめる。

児童生徒の変容

- 「江田島市は、田舎で何もいいところがない」と答える児童が多い中で、1つでも多く江田島のいいところや魅力を発見できること目指し、様々な体験的活動を行ったことで、江田島の魅力や江田島がいいところであるということに多くの児童が気付くことができた。
- 大阪府の小学生と交流をして気付いたことには、「大阪府には、魅力がたくさんあったが、江田島にも魅力がたくさんあり、江田島のよさに気付くことができた。」「江田島には、名物がたくさんあると思ったが、大阪にも名物があることが分かった。」「大阪府も江田島市もどちらにも良いところや魅力がたくさんあることが分かった。」といった記述がみられた。

連携機関・団体・人物

- 【マリンアドベンチャー】さとうみ科学館 西原館長ほか職員の方
- 【マリンアクティビティ】ビーチ長浜 大久保さんほか切串パドラーの方
- 【ビーチクリーン】一般社団法人フウド 代表後藤さん 今田さん
- 【ウミホタル観察】さとうみ科学館 西原館長
- 【カッター研修】国立江田島青少年交流の家 職員の方
- 【学校交流】大阪府枚方市立中宮小学校 6年生



フウド後藤さんと今田さん

成果○と課題●

- 実体験を多く取り入れたため、江田島のよさに気付くことができた。
- 「実行」の段階で、体験的な活動を行い、その後どうするか迷っていたが、大阪府の小学生と交流することになったので、学んだことを表現し共有することができた。
- 江田島は、たくさんの魅力があるということに気付くために、学校交流を行ったが、大阪の魅力にひきつられて江田島の魅力やよいところに気付くことができた児童は、ごくわずかだった。複数の学校と交流をすることで、魅力により気付くことができるようにしていきたい。
- 体験的なことをたくさん行うことができたが、それぞれの活動で事後の表現やまとめを行うことができなかった。毎回の体験的活動で、何のために行っているかを明確に行えるようにしたい。

単元名

えたじまんおすすめパンフレットを作ろう ～国語科と総合的な学習の時間の学びを関連付けて～



#江田島 #ふるさと #海 #サップ #カヌー #自然

単元の概要

これまで総合的な学習の時間で体験的に学んできた江田島の魅力をパンフレットにまとめる。読んだ人の心を引き付ける言葉や写真などを用いたりしながら、パンフレットを見た人が江田島に来てみたいくなるように書き表し方に工夫をして書くことをねらいとしている。

【単元を貫く問い】(単元を通して考え深めていく「問い」)

読んだ人の心を引き付ける書き方の工夫って何だろう？

【単元の目標】

「書くこと」において、写真や図表を用いて、江田島の魅力が伝わるように、書き表し方を工夫して書くことができる。

活動の様子 (全6時間)

【単元のゴールや学習計画の見通しをもつ(1時間)】

- これまでの総合的な学習の時間のまとめとして、江田島の魅力を伝えるパンフレットを作成することを知る。
- 教科書の例をもとに、読んだ人の心を引き付ける書き方の工夫やデザインの工夫について考える。

【推薦したいものを決めて、情報を集める(1時間)】

- グループごとに、伝えたい魅力のテーマ(江田島の自然やアクティビティ、伝統文化、有名な食べ物など)を決め、どんな人に、どんなものを推薦したいかを考える。
- 推薦したいものについての情報を出し合う。

【パンフレットの構成や割り付けを考える(1時間)】

- 出し合った情報をもとに、グループでパンフレットの構成を考えたり、だれがどのページを書くか決めたりする。
- 担当したページの割り付けを考える。魅力を伝えるために、より効果的な写真を選ぶ。

【おすすめするパンフレットを書く(2時間)】

- 書き方の工夫を使って、推薦する文章を書く。
- グループでできた文章を読み合っ、よりふさわしい表現に推敲する。

【読み合っ、感想を伝え合っ(1時間)】

- お互いのパンフレットを見合っ、江田島の魅力が伝わった書き方の工夫について考えを交流する。

連携機関・団体・人物

【SUP・カヌー体験】 ビーチ長浜 代表 大久保さんほか切串パドラーの方



SUP体験の様子

成果○と課題●

- これまで体験的に学んできた総合的な学習の時間と国語科の学習を関連付けることで、どちらの学習のねらいも達成することができた。
江田島の海での活動や伝統文化を体験することで、ふるさとの魅力を発見し、誇りや愛着を高めることをねらいとしていた。国語科の学習と関連付けることで、体験を体験で終わらせることなく、全員が自分の言葉で江田島の魅力を発信する機会をもつことができた。また、自分の考えを言葉にすることで、江田島の魅力を再認識し、ふるさとを自慢に思う気持ちを高めることができていた。
相手や目的を明確にして、すいせんする文章の書き方を学ぶことをねらいとしていた。「自分たちのふるさとに人を呼ぶために江田島の魅力が伝わるパンフレットを書く。そのために書き方の工夫やデザインの工夫を学ぶ。」という、学ぶ目的を児童が明確にもつことができた。また、書くことには抵抗がある児童が多いが、体験的に学んでいたことを文章にしたことで、全員が自分の考えをもつことができた。
- 市役所等と連携して「江田島市役所から、江田島の魅力を伝えるパンフレット作製依頼が来た。作ったパンフレットは市役所からも広報してもらえる。」というような、江田島の課題(人口減少)を解決することによりオーセンティックにつながる導入があると児童の書く意欲もより上がると考えられる。